

TOYAMA VICTIM SUPPORT CENTER



公益社団法人

とやま被害者支援センターだより

2017. 4.30 発行 第24号



野上祇麿「まつりの朝」

目

次

特別寄稿（新田一郎前富山県知事政策局長）	1	活動報告	4
平成29年度 事業計画と収支予算	2	正会員、賛助会員等	5・6
平成28年度 支援状況	3		

特別寄稿

富山県の犯罪被害者等支援の強化と性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの創設にむけて

前富山県知事政策局長 新田 一郎



知事政策局長の職を拝命したのが、平成28年4月でしたが、その直後二組のお客様が訪ねて来られました。

一つは、四十物とやま被害者支援センター理事長ほかの皆さまでした。お話の趣旨は、とやま被害者支援センターが平成18年に発足以来、民間企業・団体、警察職員、個人の会員の皆さまや、募金活動などの民間による支援と県や市町村からの支援を財源に活動してきたが、10年の節目を迎え、更なる活動の強化も検討しなければならないことから、その財源の確保に是非努めてもらいたいとのことでありました。

もう一つは、自民党県議会議員政務調査会の皆さまでした。山本徹政務調査会長、武田慎一犯罪被害者支援条例PT座長ほかの方々です。自民党県議会議員会として議会提案で犯罪被害者等支援のための条例を平成28年11月議会に提出したいので、予算措置や支援のための体制整備などを是非よろしく願いたいとのことでした。

もとより、県としては、これまでから、普通の生活をしていただいていた県民の方が突然犯罪に巻き込まれ、生活の平穏が脅かされたときに、ご本人や家族などに対し、様々な相談に応じて、裁判所への付添い、金銭的な支援、精神的なケアなどが受けられるように努めてきたところです。

しかし、昨今の凶悪な殺人事件、悲惨な交通死亡事故などを考えますと、これまで以上の支援が急務であり、二組のお客様のお話は県民の切実な願いとして県政としてもしっかりと受け止めなければならないものと思いました。

その後、とやま被害者支援センターや自民党県議会議員会の方々を中心に、市町村などへの理解も広げられ、県内における犯罪被害者等支援の強化へ機運も盛り上がってきたのではないかと思います。

議論の過程で、大変印象深いことがありました。

真っ白い紙を、一度くちやくちやに丸めて、それから広げると、平らにはなるけれど、一度つい

た皺は消えません。これが犯罪被害を受けた方々の心持ちであるとお話でした。経験した人でしか分からない問題に向き合う犯罪被害者等支援の難しさを見せつけられました。

また、性犯罪・性暴力についてのお話を伺う機会もいただきました。表に出ている数字と水面下の数字には大きな開きがあること、子どもが親族から性犯罪等の被害を受けた場合、なかなか警察には行きづらいこと、性犯罪等の被害を受けてその時に何も対応をしない場合、時間がたってから精神的な問題が起こると精神的ケアが大変難しいこと、性犯罪等の被害を受けるのは女性に限らないことなどでした。いずれもこの問題の根深さ・複雑さを物語っており、これまで、このような問題に向き合ってきた県内の民間、医療関係者等の方々のご努力に感謝申し上げますとともに、今後、県としてどのようなことができるのか、県民の立場に立って、とにかく早く相談していただき、できる限りの支援に努めるための取り組みを早急にしなければならないと感じました。

その後、県議会において犯罪被害者等支援条例が全会一致で可決され、平成29年4月1日から施行されています。

条例ができたから終わりではなく、これからがスタートです。県としては市町村と連携して、とやま被害者支援センターの財務基盤の強化や相談員の増員等体制強化のための予算を平成29年度当初予算で措置いたしました。また、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターについても、遅くとも平成30年4月までには設置できるようにするため、相談員の育成やセンターを担う人材の確保の予算も措置いたしました。

今後とも、とやま被害者支援センターはもとより、多くの関係者、県民の皆様のご理解とご協力をいただき、県全体で犯罪被害者支援等が継続・強化されていくように、県としても全力で努めていくことをお誓い申し上げたいと思います。

平成28年度 臨時社員総会の開催

3月17日(金)、午後1時30分から富山市湊入船町「とやま自遊館」において、平成28年度臨時社員総会が開催され、平成29年度事業計画及び収支予算書等が承認されました。



第1 議題

1 平成29年度事業計画及び収支予算書の承認

平成29年度事業計画 (H29.4.1～H30.3.31)

項 目	細 目	内 容	期 間 等
相談事業	電話相談	事故事件の身体的被害者等の精神的なケアや情報提供のため、専用の電話で相談を受ける。	毎週月～金曜日 10:00～16:00
	面接相談	適切な支援のため面接による相談を行う。	予約制
	専門相談	弁護士による法律相談、臨床心理士等による心理相談を通じて専門的な対応・支援に努める。	無料法律相談 月1回 予約制
直接的支援事業	危機介入	被害発生直後の早期段階から警察情報の提供を受け、被害の軽減・回復をめざし支援する。	必要に応じて
	同行支援と社会的資源の活用	被害者宅の訪問、付添、代理傍聴、関係機関との連絡調整のほか、必要により、県、市町村等と連携のもと直接的支援を実施する。	必要に応じて
	申請補助	犯罪被害者等給付金裁定申請に関して、必要な書類の教示、申請書類の記載等補助を行う。	必要に応じて
	自助グループ支援	被害からの精神的回復を目的とした被害者の自助グループの例会運営のサポートに努める。	毎月1回開催
広報事業	広報啓発活動	・犯罪被害者等が何時でも支援が受けられるよう電話相談・直接的支援事業に関する広報活動に努める。また、被害者支援の現状と必要性について理解を深めるため、中・高校生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」、犯罪被害者週間行事(講演会等)の開催等啓発活動に努める。 ・新たに県内各市町村を対象とした巡回合同広報啓発キャンペーンの実施に努める。	・センターだより、HP、ポスター、パンフ等配布・利用 ・市町村広報紙広告 ・11月25日(土)
人的基盤の充実確保と委託事業	体制及び活動の強化	犯罪被害者等支援条例の制定を機に、常勤・非常勤各1名の専従職員を採用、体制及び活動の充実強化を図る。	
	支援事業の推進	支援員の育成及び支援体制の確立のもと危機介入による早期援助、途切れのない支援の実施、更には県民の理解と協力を得るための広報啓発活動に努める。	
支援員の養成・支援スキルの向上	研修会等の開催	支援スキル向上のため臨床心理士、弁護士等を講師とした研修会等を開催する。	
	研修会等への参加	全国ネットワーク等の研修会等へ参加し、犯罪被害相談員等の知識技能の向上に努める。	
	調査研究	支援センターの認知度、被害者等の支援ニーズ等の把握のため意識調査を行う。	
	ボランティア採用	相談及び直接的支援等の事業活動を充実させるため、新規のボランティアを募集する。	
関係機関・団体との連携による支援活動	ネットワーク事業	全国ネットワークの事業に参加し、幅広い知識と新しい情報の収集に努める。	
	県警等との連携	県警及び条例のもとに設置の協議会等との緊密な連携によって被害者支援の責務を果たす。	
安定的な財政基盤の整備	財源基盤の整備	第2期財政基盤確立3か年計画のもと法人・個人賛助会員の確保・拡大等に努める。	
	自主財源の確保	募金箱の設置・支援自動販売機の設置拡大、ホンデリング等自主財源確保に努める。	

平成29年度収支予算書

(単位:円)

科 目	平成29年度	平成28年度	増 減	摘 要
経常収益				
会費収入	7,050,000	8,035,000	△985,000	
補助金等収入	12,985,000	10,110,000	2,875,000	県・市町村各375万
委託事業収入	4,000,000		4,000,000	県警(新規支援業務委託事業)
寄付金等収入	500,500	300,750	199,750	
経常収益計	24,535,500	18,445,750	6,089,750	
経常費用				
事業費支出	18,873,712	16,395,238	2,478,474	
管理費支出	5,578,108	3,654,494	1,923,614	
経常費用計	24,451,820	20,049,732	4,402,088	
収 支 差 額	83,680	△1,603,982	1,687,662	

2 役員の変更

豊本 治理事の辞任(H29.2.27)

第2 報告事項

- 平成29年度新規ボランティアの募集
- 平成29年度弁護士による無料法律相談の実施
- 平成29年度事務局の体制(職員の任免及び人的基盤整備に伴う新規職員の採用等)

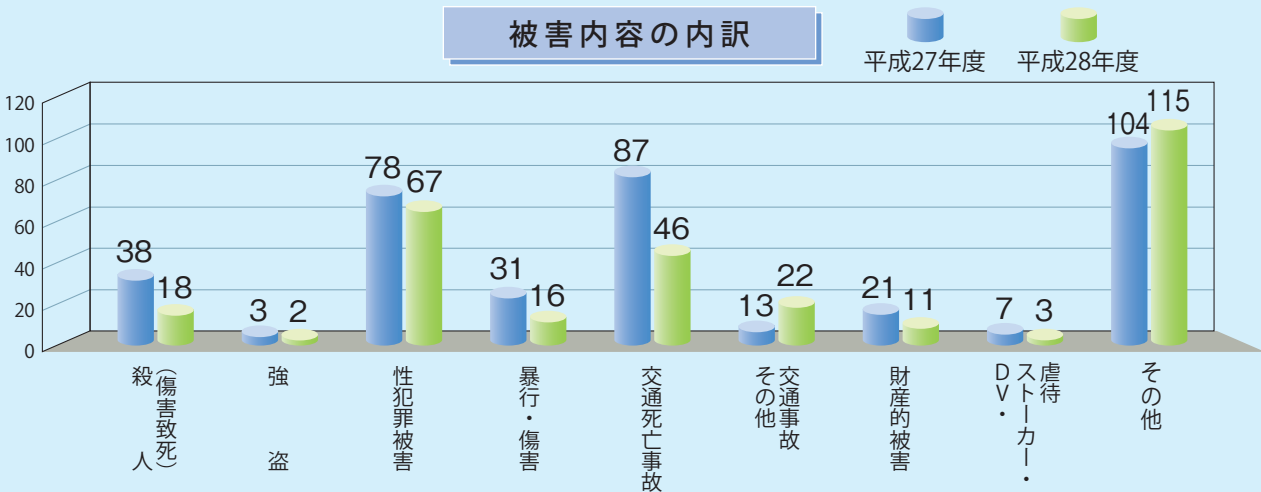
平成28年度とやま被害者支援センター支援状況

平成28年度、とやま被害者支援センターが受理した相談及び直接的支援件数は300件で前年に比べ82件の減少となりました。

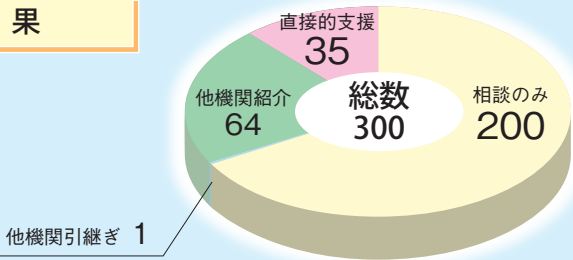
相談件数が減少した理由としては、複数回の相談や支援につながる重要な事故事件の発生が相対的に減少したことが挙げられます。

	平成27年度	平成28年度	増減
電話相談	320	248	-72
面接相談	34	17	-17
直接支援	28	35	+7
総 数	382	300	-82

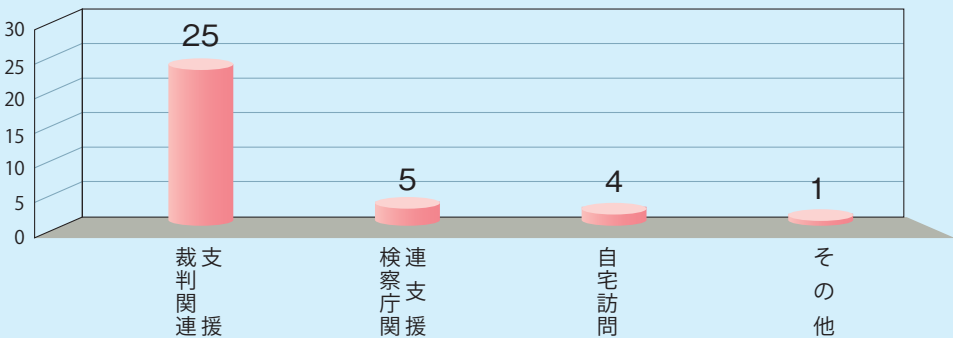
被害内容の内訳



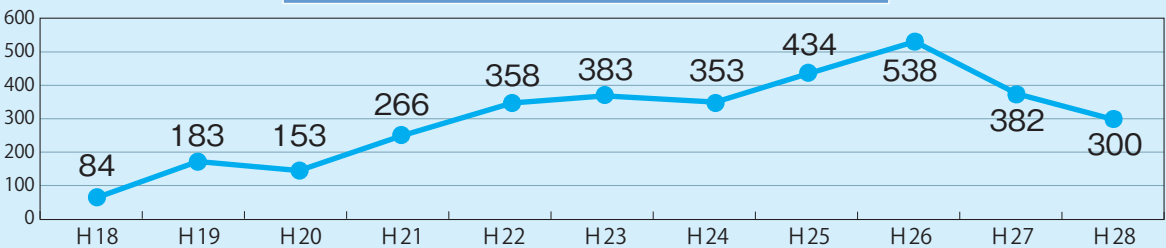
対応結果



直接的支援の内訳



相談及び直接的支援件数の11年間の推移



活 動 報 告

研 修 会

●事例検討会



12月1日 スーパーバイザー：大久保恵美子先生
(公益社団法人全国被害者支援
ネットワーク顧問・当センター理事)



1月10日 高野相談員による模擬事例検討会

●法律・制度研修

2月21日 白井謙一弁護士
(当センター支援遺族の国選被害者参加弁護士を担当)
テーマ「弁護士業務における被害者支援」



●情報交換・検討会

3月25日 ブロック研修会後期参加者報告
28年度の振り返り
意見交換

講演活動 命の大切さを学ぶ教室(富山県警察との連携にて)

講師 高倉 年美氏

2月17日 雄山高等学校 (150名)
2月24日 砺波工業高等学校 (151名)
2月27日 富山国際大学付属高等学校 (250名)

広報・啓発活動

2月 6日 富山被害者支援ネットワーク総会
2月16日 高岡被害者支援ネットワーク総会
2月24日 砺波被害者支援ネットワーク総会

部外講演会

11月 4日 公共交通事故被害者等支援フォーラム
2月 3日 弁護士会支援委員会意見交換会
2月 9日 富山地方検察庁捜査実務研修
2月22日 富山保護観察所職員研修
3月10日 富山刑務所

自助グループ支援活動

1月27日 2月24日 3月24日



命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール

佐伯さん、荒井さん 受賞

警察庁の「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」で、高校生の部の警察庁長官賞に佐伯亜紗さん(呉羽1年)、中学生の部の警察庁被害者支援室長賞に荒井明香里さん(入善西2年)がそれぞれ選ばれ、受賞伝達式が13日、県警本部で行われた。白井利明本部長から賞状を受け取った2人は、これからも人とのつながりや思いやりを大切にしたいと話した。

作文コンクールは都道府県警などが開く「命の大切さを学ぶ教室」を受講した生徒を対象に、2011年度から

佐伯さん(呉羽1) 荒井さん(入善西2)
警察庁全国作文で表彰

白井本部長(右)から賞状を受け取る佐伯さん(左)と荒井さん(左から2人目)＝県警本部

毎年開催。今回は高校生の部に約2万9千点、中学生の部に約4万点の応募があった。2人は交通事故被害者の遺族による講演を聞き、命の重みや、被害者を受ける家族の思いなどをつづった。

平成28年度中、会費を納入いただいた正会員・賛助会員と寄付をいただいた皆様 温かいご支援ありがとうございます。

正会員（敬称は略）

法人・団体

(N)富山カウンセリングセンター
富山経済同友会
(公社) 富山県看護協会
(一社) 富山県経営者協会
(一社)富山県警備業協会
(公財) 富山県交通安全協会
(一社) 富山県歯科医師会
富山県商工会議所連合会
富山県商工会連合会
富山県自治会連合会
富山県中小企業団体中央会
(一社) 富山県トラック協会
富山県弁護士会
(公財) 富山県防犯協会
富山県臨床心理士会
日本公認会計士協会北陸会富山県部会
北陸税理士会富山県支部連絡協議会

名誉会員

個人

四十物 直之
牧田 和樹
宮本 春慶
大久保 恵美子
佐竹 紳一郎
三條 孝順
豊本 治
本田 徹
伊東 潤一郎
高野 二郎
吉原 節夫
吉本 裕子
土開 由香

中尾 哲雄 翠田 章男

株式会社四十物昆布 代表取締役社長
株式会社牧田組 代表取締役社長
(公社)とやま被害者支援センター 事務局長
(N)全国被害者支援ネットワーク 顧問
さたけ産婦人科 院長
三條孝順税理士事務所 所長
高岡法科大学 教授
ほんだクリニック 院長
アイティオ(株) 代表取締役社長
タカノ建設(株) 代表取締役社長
富山県明るい選挙推進協議会長
吉本レディースクリニック 院長
土開由香税理士事務所

賛助会員（敬称は略）

法人・団体

株式会社アイザック・オール
株式会社四十物昆布
株式会社アイビックス
株式会社あおぞら経営税理士法人
株式会社朝日運送
阿曾原温泉小屋
株式会社あづまコンクリート工業
株式会社アルト
株式会社アルプス発電
南飯田造園
池田電気工事
イースタン自動車
イシモト環境資源開発
五十嶋商事
株式会社井波
射水建設興業
射水工業
射水市生活安全課
インテック
株式会社魚津清掃公社
株式会社魚津法律事務所
株式会社エフテック
ST物流サービス
STメタルズ
オーアイ工業
大谷製鉄
南太田建材運輸
小川建設工業
オーム電気工事
医療法人社団 小栗小児科医院
学校法人小矢部自動車学校
片山工業
金岡忠商事
金原開発
株式会社上金掃
河上金物
川原工業
Keep True
学北日本自動車学校
北日本新聞社
北日本物産

北日本道路
北日本機械
北日本和紙工業
北日本和紙工業
北日本金太郎温泉
(有)クリーンアクト
呉羽自動車学校
高新工業
学高自動車学校
交通企画
株式会社小杉カントリークラブ
医療法人財団五省
寿電設
株式会社五万石
金剛薬品
サカサ産業
坂田工業
クラバックス
(有)佐々木博善社
三越通信工業
三協・立山
三協ワシメタル
三條孝順税理士事務所
和運輸
株式会社ジェック経営コンサルタント
(有)松栄 松岡ｼﾞｬｽﾞ&ﾊﾞﾚｰ
株式会社上智
株式会社商工組合中央金庫富山支店
新高清掃
株式会社シンソーワ
株式会社神通技研
新和設計
株式会社すの印刷
株式会社関口組
セコム北陸
第一交

株式会社第一電工舎
株式会社第一薬品工業
大建工業
太平ビルサービス
株式会社富山支店
高岡警備保障
株式会社高岡市衛生公社
株式会社高野田組
株式会社高野工業
鷹栖建設
タカノ建設(ホーム)
多田自動車工業
田中精密工業
株式会社チューエツ
中越興業
チューモク
株式会社チューリップテレビ
津根精機
株式会社角土石
寺崎工業
株式会社ドアメンテナス
とうざわ印刷
藤堂工業
東邦工業
東洋ゴム北陸販売
道路技術サービス
トナミ運輸
砺波工業
富美道路
富山エフエム放送
富山環境整備
富山銀行
(一財)富山労働総合福祉センター(呉羽ハイテ)
(一財)富山県警察協会
富山県警友会
富山県警友会富山西支部
富山県警友会富山中央支部
富山県警友会富山南支部
富山県小型運輸
学校法人富山自動車学園
富山県指定自動車教習所協会
富山交通産業
富山商工会議所

富山県信用組合
富山県総合警備保障
富山県中央自動車学校
富山県トラック
富山県元刑事友の会
富山県遊技業防犯組合連合会
(公財)富山県交通安全協会富山支部
富山市サイクリング協会
とやま市漁業協同組合
富山シティーロータリークラブ
富山市八尾山田商工会
富山信用金庫
富山総合ビルセンター
富山第一銀行
富山中央安全運転管理者協議会
富山通商
富山テレビ放送
トヤマ電話工事
富山みらいロータリークラブ
富山菱光コンクリート工業
トヨタカラー富山
トンボ飲料
株式会社中西電気
中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸
県議 永森直人
お食事処 中藤
なのはな農業協同組合
南砺工業
日医工
日本海ガス
日本海ギフト
日本海電業
日本生命保険(相)富山支社
日本防災通信協会富山県支部
ノー・スラント
野村土建
萩浦工業
株式会社ハシモト
株式会社パトロ・ド富山
ハリタ金属
株式会社深松組北陸支店
株式会社福野養豚センター
株式会社福見建築設計事務所

福光運輸
藤井組
伏木海陸運送
北婦中興業
北星酸
北星ゴム工業
北高アルミ産業
北陸宇部コンクリート工業
北陸機材
北陸銀行
北陸総合警備保障富山支社
北陸電気工事
北陸電機製造
北陸電力
北陸パロン美装
北陸湊運輸
一般財団法人北陸予防医学協会
北星名産業
(医)社団良峰会磐川クリニック
堀井よし子(業師岳山荘)
丸新志鷹建設
丸八
三菱レイヨン富山事業所
宮口建設
宮本工業
ミユキ化成
株式会社三四五建築研究所
南森本鉄工組
安川組
山富ヤマトII
山陽進
横山冷菓
米田木材
米原商事
(有)雷鳥荘
株式会社立業社
YKK
若林商店
ワカノ電工
(医)社団法人和敬会

匿名 6社

個人

青山和雄	海老克昌	楠祝	高井外次	長勢甚遠	平井信子	宮腰紀久子	山本修一
赤松俊一	大野久芳	栗原美孝	高倉寛武	中野清志	平木明子	向井真佐子	山本栄
麻井重行	大井博義	小西剛徳	高橋正道	中村外志	平野章治	村井謙吉	山田美
浅野好一	小竹久美子	小橋洋美	高橋道成	鍋谷彰一	広地良夫	村上謙吉	山田真
芦崎保治	小竹光三	堺井欣一	宝田信一	西垣信夫	福岡雅久	村澤秀夫	山田守
鮎井和子	鹿熊正一	酒井立志	竹田慎一	西本隆夫	藤田修市	村本康男	山田恵
生田隆信	笠原敏夫	紫藤進	武田信一	新田八郎	伏間寿・ユリ	村毛利彰	山田高
石板谷龍二	勝原幹裕	柴田建明	田嶋良一	能登真吾	堀登美子	毛利英満	山田永
市崎日出夫	加納雅久	島田勝由	多田和昭	能登正二	堀仁志	矢田部吉	山田西
伊藤泰充	神島実基	島田伸一	塚原安端	畑野高夫	本田次夫	藪山岸正	山田福
井波鐵学	神谷英勉	清水喜美夫	鶴見裕博	畑野正美	牧嶋達夫	山崎登志夫	山崎本
今井義松	亀谷彰	菅田秀穂	堂故恒憲	服部留憲	松本結子	山崎裕良	山崎米
今村知代	川西弘文	杉本祥二郎	中神匡子	林克和夫	松本正美	山崎豊雄	山崎川
入城瑠璃子	北川美智子	関口孝志	中川隆夫	林梓苗	松山敏満	山崎隆保	山崎酒
上田弘	北山幸雄	関口龍雄	中木幹治	稗火	松山典久	山崎達雅	山崎邊
上田記美子	北山八恵子	関戸文雄	中島貞義	火井	水島富美雄	山崎達雅	山崎邊
内生藏正秀	城能八恵子	瀬戸文雄	中島義	平井	宮岸	山崎達雅	山崎邊
梅津啓治	久和進	専徒勝司	中島義	平井	宮岸	山崎達雅	山崎邊

富山県警察本部長以下警察官・警察職員 2250名／匿名希望 49名／総数 2465名

寄付・募金

募金箱(68か所設置)	90,494円
10周年記念行事募金	40,462円
寄付金(団体又は個人)	138,265円

大久保恵美子、警察本部会計課、翠田章男、高畑百合子、小矢部警察署(チャリティ)、警備部機動隊(チャリティ)、匿名、匿名(警察本部)、警備部

＝被害者支援自販機の設置協力＝

次の自販機メーカーのご協力をいただき、警察本部や各警察署などに設置してある飲料水自販機43台の売り上げの一部を、犯罪被害者支援金として寄付していただきました。

- ・ 北陸コカ・コーラボトリング(株) ・ (株)ベネフレックス ・ (株)ジャパンビバレッジウエスト
- ・ (株)ダイドードリンコ北陸 ・ (株)アベックス ・ 北陸自動販売(株) ・ (株)コーシン
- ・ コーシン・サントリービバレッジ(株) ・ 富山ヤクルト販売(株)

支援自販機寄付金 276,692円

ありがとうございます。

あなたの優しさを待っています…

私たちの活動は、皆様からの会費・ご寄付等で支えられています。センターの支援活動は全て無料で行われますが、そのためには経費が必要になります。被害者等の方が安心して相談できるセンターでありたいと、日々努力しています。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

✿……………賛助会員・ご寄付のお願い……………✿

● 賛助会員とは

当センターの目的に賛同し、事業を財政面で支援する法人・団体または個人です。

● 年会費

◎法人・団体会員 1口 10,000円

◎個人会員 1口 2,000円

(口数に制限はありません)

賛助会費については、金額(口数)を問いません。

● ご入金の方法

◎当センター発行の「払込取扱票」にご記入の上、お近くの郵便局でご入金願います。(「払込取扱票」については、事務局(電話(076-413-7820))にお問い合わせください)

◎銀行の場合は、

北陸銀行北電ビル出張所(普)5025520

公益社団法人とやま被害者支援センターに、お願いいたします。

無 料 法 律 相 談

- ◆毎月水曜日に、とやま被害者支援センター面接室において、当番弁護士が相談に当たります。
- ◆相談は予約制で、犯罪被害（身体犯）に限ります。

詳しくは当センターへお問い合わせください。

TEL 076-413-7830

開催日	4月26日(水)	8月30日(水)	12月20日(水)
	5月31日(水)	9月27日(水)	1月31日(水)
	6月28日(水)	10月25日(水)	2月28日(水)
	7月26日(水)	11月22日(水)	3月21日(水)

ホンデリングにご協力を

ホンデリングという寄付をご存じでしょうか。皆様から読み終えた本などをご寄贈いただき、その売却代金をとやま被害者支援センターへのご寄付として頂戴し、センターの活動に役立てるというプロジェクトです。

読み終えた本やCD・DVD・ゲームソフトなどがあれば、当センターにお持ちくださるか、ご連絡いただければ引き取りに伺います。皆様のご協力を、よろしくお願いします。

平成 28 年度は、1015 冊 19,122 円の寄付がありました。

多大なご協力ありがとうございました。

● イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンへのご協力をお願い ●

毎月11日にイオン高岡南店で買い物をされ、黄色のレシートを店内に設置された投函コーナーにある当センターのボックスに入れていただきますと、レシート合計金額の1%相当額の物品がイオンリテール様から当センターに寄贈されます。これを支援活動等の事務用品類などに有効活用させていただきますので、皆様のご協力をお願いします。



寄付金自動販売機の設置にご協力を

事業所等に寄付金付の自動販売機を置いていただけませんか。皆様方のご協力のもと、自販機メーカーと契約し、売上代金の一部（1本につき1円程度）を寄付として頂戴するものです。

現在、県警や自動車学校等事業所に設置の43台の自販機を寄付金付き自販機とさせていただいております。各事業所の皆様方には是非ご検討してみてください。

の がみ ただ まる 野上 祇 磨 氏

- 1967年 第4回国際青年美術家展（日本・アメリカ）
- 1969年 5人展 北日本新聞社主催
- 1979年 唐桶山の暑い夏の芸術祭招待（茨城県笠間）
- 1981年 富山県立近代美術館収蔵美術品選定委員 ～2001年
インターナショナルアメリカ国際展（ニューヨーク）
- 1982年 富山県美術品管理協議会専門委員
にっぽん新世紀博ポスター制作（北日本新聞社）
- 1983年 富山を描く100人100景展招待（富山県立近代美術館）
富山県文化功労者表彰
- 1984年 富山の美術招待（富山県立近代美術館） ～1990年
- 1988年 第4回JAPANインパクトナウ'88（韓国美術館）
ハミテージナウ'88（兵庫県グレイス御影）
- 1997年 越中万葉夢幻単ポスター制作（高岡市）
- 1998年 地域文化功労者文部大臣表彰
- 2003年 北日本美術大賞展大賞受賞
- 2008年 北日本新聞文化賞受賞
- 現在 富山県芸術文化協会参議
日本美術家連盟会員 他

編集後記

歳月の流れははやいもので、ゆっくりと過ごしたいとの思いとは裏腹に、当支援センターに来て早や1年、新たな芽吹きを迎えました。

当センター事務局には、この4月1日から本職を除く職員が総入れ替えとなり、後任の3人と委託事業枠の新規職員2人を含む総勢6人での新たなスタートとなりました。

能力・経験ともこれまでの態勢には及びませんが、被害者支援に懸けた熱い思いのもと、事業目的の達成と関係各位の期待に応え得よう誠心誠意努力してまいりますので、これまで以上のご指導ご鞭撻を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人

とやま被害者支援センターだより 第24号

平成29年4月30日発行

発行／富山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人とやま被害者支援センター

責任者／事務局長 宮本 春慶

事務局／〒930-0858 富山市牛島町5番7号

TEL：076-413-7820 FAX：076-471-7825

E-mail／jimukyoku@toyama-shien.com

ホームページ／http://www.toyama-shien.com

